

(別添4)

【東松島市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申における「令和の日本型学校教育」の構築のため、ICTを最大限活用し個別最適な学びと、協働的な学びの実現が求められている。

本市の市内小中学校においては、教育環境・方針等を踏まえ、各教科の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえた上で、ICTを活用した新たな教材や学習活動を積極的に取り入れ、児童生徒の資質・能力の育成を目指す。

また、本市では、東松島市第2次総合計画において、まちづくりの方向性3「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」の(政策1)子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力の向上では、ICT等の先進的な取組の活用を掲げている。

今後ICT(情報通信技術)を活用した教育を推進し、児童生徒の学習環境をさらに充実させ、児童生徒の更なる資質・能力の育成を目指す。

2. GIGA第1期の総括

本市では、GIGAスクール構想の下、令和2年度に市内小中学校の児童生徒1人1台端末の整備を完了した。

また、端末等ICTの活用の基盤となるインフラ整備に当たっては、令和2年度に市内全小中学校のネットワーク基盤整備を完了した。加えて令和2年度に学校の授業支援の一環として、教員用タブレット端末及び電子黒板機能付プロジェクタ等のICT教育用備品の整備を実施している。

市内小中学校においては、児童生徒1人1台端末環境が実現したことで、授業等の様々な場面でICTの活用が進み、それらを活用した情報収集や、資料を共同編集するなど学習活動の幅が広がった。その一方で、校務や授業におけるICT活用については、指導する教職員間で差がついていることが課題である。教職員自身のICT活用能力を向上させるためにICT支援員とさらに連携し教職員が実践で活用できる支援を行っていく。

GIGAスクール構想により市内小中学校全ての児童生徒に端末が整備され、ICTを活用したさまざまなデジタルコンテンツが整備された。それに伴い教職員や児童生徒のICTリテラシーの向上が必要不可欠である。その課題解決に向けて基本的なICT機器の活用方法の研修会はもとより、クラウドの構造や活用方法の研修、先進的に行なっているオンライン学習の事例紹介の提供等の支援を行っていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

本市では、市内小中学校において、児童生徒1人1台の端末環境が実現したことにより、授業等様々な場面において、生徒がICTを活用した情報収集及び資料の共同編集等ICT機器を活用した学習活動が実現している。

その一方で、校務・授業におけるICT活用については、指導する教職員間でデジタル格差が生じていることが課題であることから、ICT支援員等を積極的に活用するほか、教職員向けのICT支援研修を実施し、教職員間のデジタル格差を是正する。教員のICT活用指導力を向上させることで、ICT端末を積極的に活用した学習活動を促進し、児童生徒が授業において端末を積極的に活用できる機会増勢に繋げていく。

これらの取組を推進していくため、端末の整備・更新を進め、児童生徒への1人1台端末環境の維持を目指していく。